

ちようどいい

佐賀県 佐賀大学教育学部附属小学校 六年

田中^{たなか}

響貴^{ひびき}

「ひびき、ちよっとお願い」

これは、お母さんが腰が痛いとき

腰に乗ってほしいという合図だ

そして腰がポキッと鳴る音に合わせて

必ずこう言う

「あー、ちようどいいー！」

妹だと軽すぎる

お父さんだと重すぎる

マッサージには、ぼくの重さがちようどいいらしい

妹はとてもおしゃべりで忙しい

お父さんは「へー。あー。うん」しか言わない

話し相手には、ぼくの口数がちようどいいらしい

妹は家で勉強ばかりしている

お父さんは家事を何もしない

お母さんはせかせか家事をしたかと思うとソファ
ーに張り付いてゲームを始める

家でのメリハリ具合は、お母さんがちようどいい

妹は実力テストがあると猛勉強する

お父さんは「計画を立ててやりなさい！」と偉そ
うに言う

お母さんは「実力テストなんだから、実力で勝負
よ」と、ぼくに任せてくれる

勉強への関わり具合は、お母さんがちようどいい

今日もぼくは、クタクタになって塾から帰ってくる

ぼくを迎えてくれる、お母さんのポカポカスー
プの味は

今日もぼくにはちようどいい